



## 義賊

### 井高久美子

義賊とは、金持ちから金品を奪い、貧しいものに分け与える盗賊を指す言葉であり、民衆の苦しみを救う英雄としての意味を持つ言葉である。フィリピンには、植民地期や戦後の混乱期に活躍した義賊に関する伝承がある。その流れを受け継ぎ、ギャングは法を省みないアウトローという側面を持ちつつも、民衆の英雄（フォーク・ヒーロー）として両義性を有した存在なのである。マニラのスラム トンド生まれのギャング「アション・サロンガ」などは幾度となく映画化され、大衆に人気を博してきた。法は所詮エリートのためのものであるという認識が、法を恐れぬアウトローを英雄化してきた。ドゥテルテ大統領の支持者は、ドゥテルテの義賊像を都市伝説まがいの伝承としてSNSで拡散し、大きな支持基盤を築いてきた。義賊的人物による強権的リーダーシップは、強い国家を建設しうるのか。国家制度を無視し弱体化するのか。「善き市民」を救う義賊的道德は、やがて「悪しき他者」の排除へと民衆を扇動しうる危険性と隣り合わせなのだ。

### 参考文献

- 日下渉「ソーシャルメディアのつくる「例外状態」：ドゥテルテ政権下のフィリピン」見市建, 茅根由佳編著『ソーシャルメディア時代の東南アジア政治』（明石書店、2020年）

### 関連リンク

- フィリピン大統領選挙——なぜ、「家父長の鉄拳」が求められたのか？（日下渉 / フィリピン政治研究）

<https://synodos.jp/international/17124/2>